

## 電子ブック・電子ジャーナルを学外から利用する

えっ。電子でブックを学外から読みたいですか？

図書館には、紙の本と共に、電子ブックや電子ジャーナル、文献データベースなどの電子媒体の資料があります。電子媒体の資料は、そのほとんどが出版社など外部サーバから提供されており、図書館が契約している資料については、兵庫教育大学からアクセスすることで利用できます。

しかし、以下の方法により大学の認証を経ることで、自宅やサードプレイスなど学外から、これらの資料を利用することができます。

大変便利です、ぜひご利用ください。

- ① 学認 (Gakunin)
- ② VPN

ここでは、簡単で便利な①学認 (Gakunin) の方法について紹介します。

### 学認 (Gakunin) とは

電子ジャーナルや電子ブックなど、学内限定の様々なサービスを学外から利用できるようになるリモートアクセスサービスのひとつです。

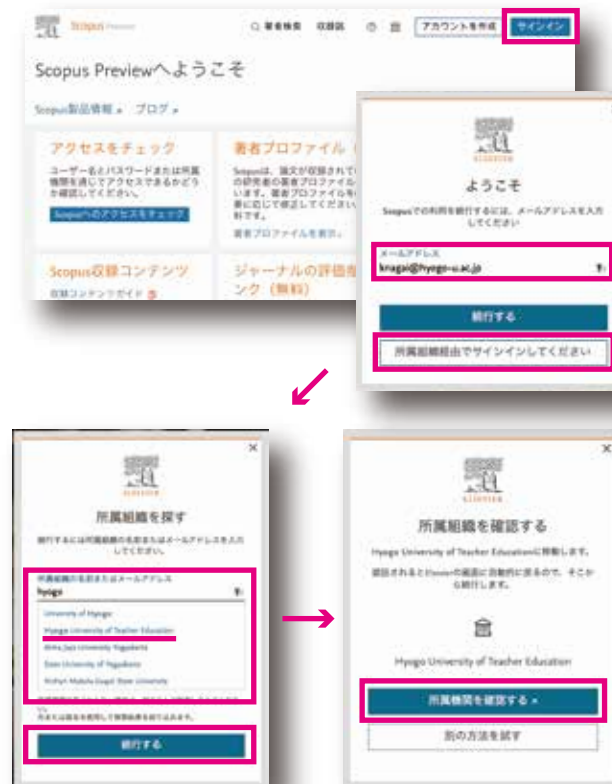
兵庫教育大学の情報処理センターの基本利用アカウント (○○○@hyogo-u.ac.jp の○○○の部分) があれば、アプリのインストールや複雑な設定をすることなく、簡単に利用できるというメリットがあります。

ここでは、本学が契約中の電子ジャーナルSpringerLinkと、文献データベースScopusにおける学認の利用方法を説明します。



VPNは、PCやスマホに専用のアプリをインストールすることで、学外から学内限定のサービスに利用できるサービス。  
VPNの利用方法については、情報処理センターのウェブサイトをご参照ください。

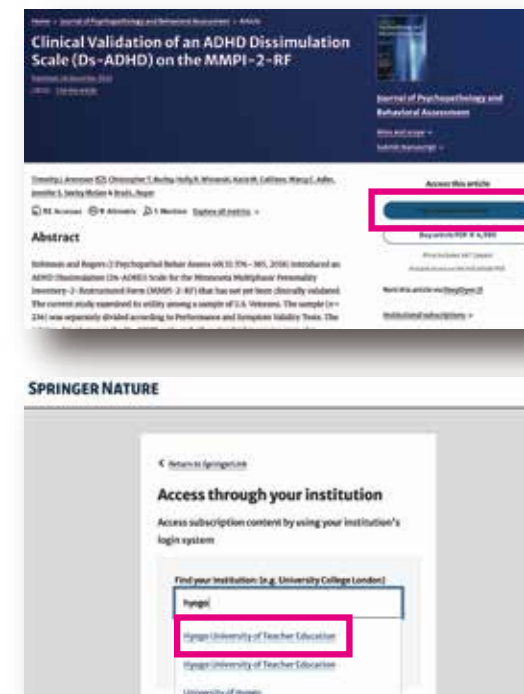
### Scopus



①Scopus (<https://www.scopus.com/>) にアクセスし、右上の「サインイン」をクリック。  
②「サインイン」の画面で、学内のメールアドレスを入力し、「所属組織経由でサインインしてください」をクリック。

③「所属組織を探す」の画面で、フォームに「hyogo」と入れたら、「Hyogo University of Teacher Education」が表示されるので選択し、「続行する」をクリック。  
④「所属組織を確認する」の画面で、「所属組織を確認する」をクリックすると、兵庫教育大学情報処理センターのログイン画面が表示されるので、基本利用アカウントでログインすれば、サインインが完了し、Scopusを利用できます。

### SpringerLink



Googleなどで見つけた論文がSpringerLinkで提供されているのであれば、基本的に本学の構成員はその論文を閲覧できます (一部例外あり)。学外からアクセスした場合は、論文ページで、「Log in via an institution」のアイコンが表示されますので、それをクリックします。

フォームに「hyogo」と入れたら、「Hyogo University of Teacher Education」が表示されるので、クリックします。その後、兵庫教育大学情報処理センターのログイン画面が表示されるので、基本利用アカウントでログインすれば、論文PDFが閲覧できます。